

地方創生にかかる淡路市との連携事業の実施について

1 実施概要

地方創生にかかる本市の創生総合戦略を推進するため、地方創生加速化交付金を活用し、「里山（淡路市）」×「都市（芦屋市）」の魅力による子ども育成モデル事業」として、以下の取組を実施するもの。

- ◆ 淡路産品を活用した食育推進事業による子育て、教育環境充実プロジェクト
- ◆ 就業体験を通じた体験学習と体験宿泊型観光事業構築プロジェクト

2 淡路市との連携事業内容

① 淡路産品を活用した食育推進事業による子育て、教育環境充実プロジェクト

【目的・内容】高い評価を得ている芦屋市の学校給食の更なる充実を目指して、淡路産品を学校給食の食材として活用し、子どもたちの健康な体づくりを推進するとともに、淡路市内生産者にとって新たな販路拡大の機会とする。

→両市の総合戦略への関わり

〔芦屋市〕子育て、教育環境の魅力向上

〔淡路市〕第一次産業の活性化



淡路産品



はものフライと玉ねぎ味噌

② 就業体験を通じた体験学習と体験宿泊型観光事業構築プロジェクト

【目的・内容】芦屋市内にはない農業・漁業等の食材の提供元である淡路市が体験学習のフィールドとなり、芦屋市の小学生等の受け入れをきっかけとして、淡路市での新たな体験宿泊型観光事業の仕組みの構築を目指す。

芦屋市においては、小学生の体を動かす場の創出となるとともに、里山等での体験を通じて子ども達の社会性を育むきっかけとする。

→両市の総合戦略への関わり

〔芦屋市〕子育て、教育環境の魅力向上

〔淡路市〕滞在型観光の推進



山手小学校4年生

3 連携事業の実施実績及び今後のスケジュール

時 期	実 施 内 容	場 所
7月1日	◆芦屋市と淡路市の両部長、淡路島の食を届ける会の方3者で食材の受渡しセレモニーを実施	庁 議 室
7月6日 ～7月15日	◆『ええもん・うまいもん淡路 ～御食国ミッケ!～』と題して精道小学校で淡路産品を活用した給食を先行実施 ◆7月7日には山中市長、福岡教育長、淡路市門市長が給食を児童とともに試食	精道小学校
7月28日、29日	◆芦屋市学校給食展 淡路産品を紹介するブースを設けて、クイズ正解者に対し淡路産玉ねぎを配布。合わせて淡路市の観光パンフレットも配布。	市民センター
10月・11月	◆就業体験学習として小学生が淡路市の事業者のところへ訪問（市内6小学校） ○ 収穫等の農業体験（稲、みかん、玉ねぎ） ○ 特産品（例：吹き戻し等）の生産現場での体験	淡 路 市 内
10月17日 ～10月28日	◆『味覚の1週間』と題し、市内有名シェフによる給食を実施した際、淡路産品を積極的に活用（同時にシェフによる食育の授業も実施）	各 小 学 校
10月24日 ～10月28日	◆『ええもん・うまいもん淡路 ～御食国ミッケ!～』と題して浜風小学校で淡路産品を活用した給食を実施	浜風小学校
11月7日 ～11月11日	◆『ええもん・うまいもん淡路 ～御食国ミッケ!～』と題して各小中学校で淡路産品を活用した給食を実施	潮見中学校 山手小学校 打出浜小学校 潮見小学校
12月5日 ～12月9日	◆『ええもん・うまいもん淡路 ～御食国ミッケ!～』と題して各小学校で淡路産品を活用した給食を実施	宮川小学校 岩園小学校 朝日ヶ丘小学校
H29年度～ 〔来年度〕	◆事業を継続して実施	

4 その他

創生総合戦略の取組としては、上記の他に『子どもの体力向上』、『読書推進』、『プログラミング教育推進』の各視点において事業化を検討中。

以 上